

2019年第35回学習デジタル教材コンクール 「文部科学大臣賞」受賞について

学習指導要領の改訂により，令和2年度から小学校でプログラミング教育が必修化されることから，教員が「プログラミング的思考」等の資質・能力の育成を図りながら，各教科等の学びをより確かなものにするができるよう，平成29年度の総合教育センター長期研修専門研究において，「プログラミング教育スタートパック」を開発した。この「スタートパック」等を活用し，平成30年度長期研修専門研究において，「プログラミング教育校内研修ナビ」を開発した。

このツールが，公益財団法人学習情報研究センター主催の「第35回学習デジタル教材コンクール」において最高賞である「文部科学大臣賞」を受賞したもの。

今後，本ツールが県内の各学校における校内研修で活用され，児童の情報活用能力の育成が図られるよう，積極的な広報・普及を行っていく。

1 学習デジタル教材コンクール

(1) 主催者等 主催：公益財団法人学習情報研究センター 後援：文部科学省

(2) 事業の概要

学校教育におけるデジタル機器の活用を促進するため，教員その他の教育関係者・団体が作成したデジタル教材を募集し，表彰する事業。

デジタル機器の活用と教育の情報化の進展に貢献することを目的として，優れた作品を広く教育関係者に紹介し，相互利用できるよう情報提供している。

(3) 表彰の種類

文部科学大臣賞，学情研賞，日本児童教育振興財団賞 ほか

2 ツールを開発した専門研究の概要

(1) 研究領域 情報教育

(2) 研究主題等 学校全体で取り組む小学校プログラミング教育の推進
－「プログラミング教育校内研修ナビ」の開発と活用の提言を通して－

(3) 専門研究員 引地克博（白石市立南中学校；現白石中学校） 鹿野啓介
（大和町立宮床中学校） 佐々木耕太（美里町立北浦小学校）

3 その他

(1) 表彰式は，令和元年7月30日（火）に「一橋講堂（東京都千代田区）」において行われた。（全国の学校・教育委員会・教育センター等からの応募総数は117件）

(2) 同コンクールにおいて，平成30年「プログラミング教育スタートパック」は，最高賞に次ぐ第2位に相当する「学情研賞」を受賞。過去には平成28年にタブレット端末活用動画集「+（プラス）タブレ」が，「文部科学大臣賞」を受賞している。